

摂食・嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠 : 1) 口腔とは (4) においの感覚総論. 口腔からみた全身との関わり (鴨井久一編), 86-8 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 2) 小野高裕, 堀 一浩 : 顎顔面補綴. 口腔外科学 第3版 (白砂金光編), 578-88 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.

【論文】

- 1) Tamine K, Ono T, Hori K, Kondoh J, Hamanaka S, Maeda Y : Age-related changes in tongue pressure during swallowing. J Dent Res, in press, 2010.
- 2) Ichikawa K, Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H, Funayama S, Ito K, Igarashi A : Relationships between amount of saliva and medications in elderly individuals (79 ~ 80 years old) . Gerodontology, in press, 2010.
- 3) Higashi K, Yoshida M, Igarashi A, Ito K, Wada Y, Murakami S, Kobayashi D, Nakano M, Sohda M, Nakajima T, Narita I, Toida T, Kashiwagi K, Igarashi K : Intense correlation between protein-conjugated acrolein and primary Sjögren's syndrome. Clin Chim Acta 411(5-6):359-63, 2010.
- 4) Ono T, Hori K, Masuda Y, Hayashi T : Recent advances in sensing oropharyngeal swallowing function in Japan. Sensors 10 : 176-202, 2010.
- 5) Hasegawa Y, Ono T, Sakagami J, Hori K, Maeda Y, Hamasaki T, Nokubi T : Influence of voluntary control of masticatory side and rhythm on cerebral hemodynamics. Clin Oral, in press, 2009.
- 6) Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Zhang M, Maeda Y : Circulatory response and autonomic nervous activity during gum chewing. Eur J Oral Sci 117(4) : 470-3, 2009.
- 7) Ono T, Iwata H, Hori K, Tamine K, Kondoh J, Hamanaka S, Maeda Y : Evaluation of tongue-jaw-swallow related muscle coordination during voluntarily triggered swallow. Int J Prosthodont 22(4) :493-8, 2009.
- 8) Ono T, Hori K, Maeda Y : Evaluation of tongue motor biomechanics during swallowing / from oral feeding models to quantitative sensing methods. Jpn Dent Sci Rev 45(2) : 65-74, 2009.
- 9) Hori K, Ono T, Tamine K, Kondo J, Hamanaka S, Maeda Y, Dong J, Hatsuda M : Newly developed sensor sheet for measuring tongue pressure during

swallowing. J Proshtodontic Res 53 :28-32, 2009.

- 10) Ito K, Funayama S, Hitomi Y, Nomura S, Katsura K, Saito M, Hayashi T, Kaneko N, Nohno K, Igarashi A : Proteome analysis of gelatin-bound salivary proteins in patients with primary Sjögren's syndrome-identification of matrix Metalloproteinase-9-. Clin Chim Acta 403(1-2) : 269-71. 2009.
- 11) Tsukada T, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M : Effects of food texture and head posture on oropharyngeal swallowing. J Appl Physiol 106(6) : 1848-57, 2009.
- 12) 敦井智賀子, 荒井良明, 谷口裕重, 矢作理花, 堀 一浩, 井上 誠 : 下顎運動時の胸鎖乳突筋ならびに後頸筋群の筋電図学的評価. 顎機能誌 16(2) :112-23 頁, 2010.
- 13) 下畑享良, 大瀧祥子, 西澤正豊 : 多系統萎縮症における嚥下障害. 神経治療学 27(1) :19-23 頁, 2010.
- 14) 吉津和憲, 井上 誠 : 嚥下反射誘発時の呼吸関連筋活動の変調. 新潟歯学会誌 39(2) :17-22 頁, 2009.
- 15) 城下尚子, 堀 一浩, 阪上 穰, 山本雅章, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 小野高裕, 前田芳信, 古郷幹彦, 岩井聡一, 中澤光博, 由良義明, 野首孝詞 : 下顎・舌・口底腫瘍術後患者の術後の嚥下能力の回復に影響を及ぼす因子. 顎顔面補綴 33 : 67-78 頁, 2009.
- 16) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 佐久間汐子, 伊藤 聡, 野村修一, 五十嵐敦子 : Effect of 6-month administration of Cevimeline hydrochloride on salivary flow rate and salivary components in primary Sjogren's syndrome patients. 新潟歯学会誌 39(1) : 25-8 頁, 2009.
- 17) 伊藤加代子, 葭原明弘, 高野尚子, 石上和男, 清田義和, 井上 誠, 北原 稔, 宮崎秀夫 : オーラルディアドコキネシスの測定法に関する検討. 老年歯科医学 24(1) : 48-54 頁, 2009.
- 18) 伊藤加代子, 福原孝子, 高地いづみ, 井上 誠 : ブラシの形態による舌清掃効果の違いについて. 日摂食リハ会誌 13(2) : 77-87 頁, 2009.
- 19) 松木貴彦, 伊藤加代子 : 見逃していませんか? お口からの SOS. 更年期と加齢のヘルスケア 8(1) : 145-9 頁, 2009.

【商業誌】

- 1) 大瀧祥子 : 摂食・嚥下の神経機構とその運動 小児外科別冊特集小児 NST 栄養シリーズ. 摂食・嚥下障害 42(3) : 228-32 頁, 東京医学社, 東京, 2010.
- 2) 大瀧祥子 : 呼吸器感染症の予防のためにも口腔ケア

を～多系統萎縮症のケース～. 難病と在宅ケア
15(5):59-63 頁, 日本プランニングセンター, 東京,
2009.

- 3) 伊藤加代子: はじめよう! 性差を考慮した歯科医療
③妊娠・出産. デンタルハイジーン 29(7):736-7
頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 4) 伊藤加代子: はじめよう! 性差を考慮した歯科医療
④更年期ードライマウスへの対応-. デンタルハイ
ジーン 29(7):738-9 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 5) 伊藤加代子: 特集女性の健康づくり支援 女性と歯
の健康. 月刊地域保健 4:54-7 頁, 東京法規出版,
東京, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠(研究代表者): 平成 21 年度文部科学省科
学研究費補助金研究, 基盤研究(C) 課題番号
20592170, 2009(継続).
- 2) 井上 誠(研究分担者): 平成 21 年度文部科学省科
学研究費補助金研究, 基盤研究(C) 課題番号
19592231, 2009(継続)
- 3) 井上 誠(研究分担者): 食の高付加価値化に資す
る基盤技術の開発. JST 地域結集型研究開発プログ
ラム, 2009(継続).
- 4) 井上 誠(研究代表者): 餅様食品の咀嚼・嚥下特
性の解明と嚥下障害予防等の高齢者食品に関する実
現可能性の検討. JST シーズ顕在化ステージ, 2009.
- 5) 堀 一浩: 食品の咀嚼・嚥下感覚特性に関する客観
評価法の開発. 財団法人 日本食品化学研究振興財団
平成 21 年度研究助成, 2009.
- 6) 谷口裕重(研究代表者): 平成 21 年度文部科学省科
学研究費応募支援経費, 2009.
- 7) 谷口裕重(研究代表者): 平成 21 年度新潟大学若手
教員論文投稿支援経費, 2009.
- 8) 谷口裕重(研究代表者): 食品物性が嚥下機能に与
える影響について. 平成 21 年度日本摂食・嚥下リハ
ビリテーション学会研究助成金, 2009.
- 9) 伊藤加代子(研究代表者): 自律神経失調による口
腔乾燥症における客観的な自律神経機能的評価に関
する研究. 文部科学省科学研究費補助金, 課題番号
20791637, 2009.
- 10) 伊藤加代子(研究代表者): 2009: 唾液分泌量およ
び口腔内水分注入量がオーラルディアドキネシス
および反復唾液嚥下テストに与える影響に関する検
討. 新潟大学プロジェクト推進経費, 2009.
- 11) 伊藤加代子(研究代表者): 平成 21 年度新潟大学若
手教員論文投稿支援経費, 2009.
- 12) 伊藤加代子(研究分担者): 加齢に伴う腎機能の低
下が骨代謝および歯周疾患に及ぼす影響の解明. 文

部科学省科学研究費補助金, 課題番号 21390558,
2009.

- 13) 伊藤加代子(研究分担者): 介護予防に関する科学
的知見の収集および分析. 平成 21 年度厚生労働省老
人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事
業), 2009.
- 14) 伊藤加代子(研究分担者): 介護予防における口腔
機能向上サービスの推進に関する総合的研究事業,
平成 21 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助
金(老人保健健康増進等事業), 2009
- 15) 伊藤加代子(研究分担者): 高齢者の口腔乾燥によ
る嚥下機能と食品物性に関する基礎的研究. 文部科
学省科学研究費補助金, 課題番号 19592233, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 堀 一浩: 舌圧測定用センサシートを用いた嚥下機
能検査, 連携機能を活用した口腔から QOL 向上を目
指す研究. 口腔 QOL 連続シンポジウム(咀嚼・嚥下
カテゴリー)口腔機能と他機能の関連と相反, 徳島,
2010 年 2 月 22 日.
- 2) 井上 誠: 災害弱者が抱える食の問題. 新潟大学地
域連携フードサイエンスセンター特別シンポジウム
あなたの被災生活を支える災害食, 横浜, 2010 年 2
月 4 日.
- 3) 井上 誠: 生理学からみたプロセスモデル. 第 15
回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,
名古屋, 2009 年 8 月 29 日.
- 4) 林 豊彦, 山口直也, 中村康雄, 中嶋新一, 井上 誠,
渡辺哲也: 自律顎運動シミュレータ JSN/3A の咀嚼運
動制御における歯根膜咬筋反射と食片の性状判断.
バイオメカニズム学会主催第 21 回バイオメカニ
ズムシンポジウム, 神奈川, 2009 年 8 月 4-6 日.
- 5) 井上 誠: 摂食・嚥下機能とその障害—基礎と臨床
と私—. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟,
2009 年 7 月 18 日.
- 6) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションにおける
機能に合致した食品の適用. 第 43 回日本作業療法学
会, 福島, 2009 年 6 月 19 日.
- 7) 井上 誠: 嚥下障害のメカニズムと対策—歯科の立
場から—. 第 648 回新潟医学会例会シンポジウム,
新潟, 2009 年 5 月 16 日.

【学会発表】

- 1) Tsujimura T, Kondo M, Kitagawa J, Tsuboi Y, Abe
K, Inoue M, Iwata K: Involvement of ERK
phosphorylation in brainstem neurons in
modulation of swallowing reflex in rats. Society
for Neuroscience, Chicago, 2009. 10.17-21

- 2) Zhang M, Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y, Chen YJ : Effects of unilateral clenching and handgrip to bilateral cerebral circulation. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009. 9. 23-5.
- 3) Hasegawa Y, Zhang M, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y : Taste and flavor increase cerebral blood flow during chewing. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009. 9. 23-5.
- 4) Ono T, Hori K, Tamine K, Kondo J, Hamanaka S, Maeda Y : Age related change in tongue movement during swallowing. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009. 9. 23-5.
- 5) Zhang M, Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y, Chen YJ : Effect of unilateral clenching and handgrip to bilateral cerebral circulation. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009. 9. 23-5.
- 6) Adachi T, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M : Effects of electrical stimulation in the pharyngeal region on the reflex swallowing. The 36th Congress of the International Union of Physiological Sciences, Kyoto, 2009. 7. 28-8. 1.
- 7) Yamamoto S, Fukuhara T, Yamamura K, Hayashi H, Inoue M : Changes in amplitude of jaw opening reflex during natural feeding in the rabbit. The 36th International Congress of Physiological Sciences, Kyoto, 2009. 7. 28-8. 1
- 8) Tsujimura T, Kondo M, Kitagawa J, Tsuboi Y, Ueda K, Iwata K : Involvement of ERK phosphorylation in brainstem neurons in modulation of swallowing reflex in rats. The 36th International Congress of Physiological Sciences, Kyoto, 2009. 7. 28-8. 1.
- 9) Fukuhara T, Kajii Y, Yamamoto S, Yamamura K, Inoue M : Effects of swallowing on the jaw opening reflex. The 36th International Congress of Physiological Sciences, Kyoto, 2009. 7. 28-8. 1
- 10) Hasegawa Y, Sakagami J, Zhang M, Hori K, Ono T, Maeda Y : Taste and flavor increase cerebral blood flow during chewing. 19th Meeting of the European Neurological Society, Milan, 2009. 6. 22.
- 11) 堀 一浩, 矢作理花, 伊藤加代子, 井上 誠 : 口腔腫瘍術後患者の摂食・嚥下リハビリテーションにおける補綴装置の効果. 平成 21 年度 (社) 日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会, 高崎, 2010 年 1 月 31 日.
- 12) 山本真也, 福原孝子, 梶井友佳, 辻村恭憲, 井上 誠 : 摂食行動に伴う開口反射の変調. 日本顎口腔機能学会第 43 回学術大会, 東京, 2009 年 11 月 28-9 日. 顎機能誌 16(2) : 140-1 頁, 2010.
- 13) 井上 誠, 塚野英樹, 安達大雅, 矢作理花, 堀 一浩 : 咽頭刺激に伴う嚥下反射惹起ならびにその変調. 日本顎口腔機能学会第 43 回学術大会, 東京, 2009 年 11 月 28-9 日. 顎機能誌 16(2) : 142-3 頁, 2010.
- 14) 川田充洋, 林 豊彦, 中嶋新一, 井上 誠, 前田義信, 渡辺哲也 : 自律顎運動シミュレータ JSN/3A の咀嚼様運動における食片性状に応じた噛み分け. 日本顎口腔機能学会第 43 回学術大会, 東京, 2009 年 11 月 28-9 日. 顎機能誌 16(2) : 132-3 頁, 2010.
- 15) 内藤 守, 伊藤加代子, 井上 誠 : 統合失調症患者における多飲行動と口腔乾燥との関連について. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009 年 11 月 21 日, 新潟歯学会誌 39(2) : 211-2 頁, 2009.
- 16) 近藤匡晴, 井上 誠 : 高齢者の歯科診療時に行う療養管理指導の必要性. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009 年 11 月 21 日, 新潟歯学会誌 39(2) : 212 頁, 2009.
- 17) 安島久雄, 小野和宏, 島田靖子, 小田陽平, 田中 礼, 松山順子, 藤井規孝, 井上 誠, 山村健介, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 高木律男, 前田健康 : 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第 28 回日本歯科医学教育学会 総会および学術大会, 広島, 2009 年 11 月 6-7 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集 : 92 頁, 2009.
- 18) 吉牟田陽子, 小野高裕, 加登 聡, 長谷川陽子, 堀 一浩, 池邊一典, 前田芳信, 田中宗雄, 森本佳成, 野首孝祠, 谷口 学 : 都市部一般住民における口腔健康と耐糖能との関係 : 吹田研究. 日本咀嚼学会第 20 回学術大会, 2009 年 10 月 4 日, 福岡, 日咀嚼会誌 19(2) : 97-8 頁, 2009.
- 19) 山本真也, 福原孝子, 梶井友佳, 林 宏和, 大瀧祥子, 井上 誠 : 摂食時にみられる開口反射の変調. 第 51 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009 年 9 月 9-11 日, J.Oral Biosci. 51 Suppl. : 76 頁, 2009.
- 20) 福原孝子, 梶井友佳, 山本真也, 井上 誠 : 上喉頭神経への電気刺激時にみられる開口反射の変調. 第 51 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009 年 9 月 9-11 日, J.Oral Biosci. 51 Suppl. : 109 頁, 2009.
- 21) 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上 誠 : 咀嚼運動ができないがゆえに独自の摂食・嚥下法を獲得した一例. 第

- 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 292 頁, 2009.
- 22) 福原孝子, 梶井友佳, 林 宏和, 井上 誠: 嚥下誘発に有効な上喉頭神経刺激時にみられる開口反射の変調. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 324 頁, 2009.
- 23) 山本真也, 福原孝子, 梶井友佳, 林 宏和, 大瀧祥子, 井上 誠: 摂食時にみられる開口反射の変調(第 2 報). 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 324 頁, 2009.
- 24) 安達大雅, 塚野英樹, 谷口裕重, 林 宏和, 井上 誠: 咳嗽嚥下の臨床応用への可能性. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 335 頁, 2009.
- 25) 矢作理花, 別府 茂, 星 正弘, 谷口裕重, 梶井友佳, 井上 誠: 加齢社会の未来を開くカレーゼリー. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 355 頁, 2009.
- 26) 濱口沙希, 角田由美, 赤塚澄子, 島村沙矢香, 辻村恭憲, 戸原 玄, 植田耕一郎: 当院病棟における摂食・嚥下機能スクリーニング検査による調査報告. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 364 頁, 2009.
- 27) 林 宏和, 梶井友佳, 福原孝子, 安達大雅, 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上 誠: 当院における摂食・嚥下リハビリテーションの臨床統計. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 375 頁, 2009.
- 28) 山野井澄江, 後藤 梢, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 井上 誠, 山田好秋: 高齢者や障害者向けに開設された「食の支援ステーション」の活動報告. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 381 頁, 2009.
- 29) 平林友香, 大瀧祥子, 伊藤加代子, 谷口裕重, 梶井友佳, 林 宏和, 安達大雅, 福原孝子, 井上 誠: 特別養護老人ホームへの訪問活動に関する本学スタッフの意識調査. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 385 頁, 2009.
- 30) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者の嚥下時筋活動と手術前後での変貌. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 407 頁, 2009.
- 31) 小野高裕, 近藤重悟, 田峰謙一, 堀 一浩, 弘田伸子, 小仲 邦, 成富博章, 濱中 里, 藤原茂弘, 稲月 撰, 前田芳信: 脳卒中患者の嚥下障害に対する舌圧ならびに歯列状態の影響. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 438 頁, 2009.
- 32) 右近さゆり, 井上 誠: 当院歯科外来において看護師が関わる摂食・嚥下リハビリテーション. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 438 頁, 2009.
- 33) 塚野英樹, 安達大雅, 谷口裕重, 林 宏和, 矢作理花, 井上 誠: ヒト咽頭部への電気刺激がもたらす嚥下反射惹起. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 442 頁, 2009.
- 34) 辻村恭憲, 阿部仁子, 戸原 玄, 植田耕一郎, 井上誠, 岩田幸一: 嚥下反射抑制に関与する孤束核ニューロンの同定. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 443 頁, 2009.
- 35) 濱中 里, 小野高裕, 近藤重悟, 田峰謙一, 堀 一浩, 松村 剛, 安井久美子, 横山須美子, 稲月 撰, 前田芳信: 舌圧センサシートを用いた筋ジストロフィー患者の嚥下時舌圧測定. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 474 頁, 2009.
- 36) 横山須美子, 堀 一浩, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中里, 稲月 撰, 小野高裕, 前田芳信: ゲル化剤濃度が嚥下時舌圧に及ぼす影響. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 498 頁, 2009.
- 37) 宮沢玲子, 佐々木美穂, 永島尚子, 谷 和美, 相田祐樹, 井上 誠: 顔面麻痺患者の「食べこぼし」に対する自助具 (パルシーヘルパー) の開発. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 501 頁, 2009.
- 38) 大瀧祥子, 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 口腔乾燥から嚥下困難感をきたした症例. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) :

- 528 頁, 2009.
- 39) 梶井友佳, 木村慎二, 小澤鉄太郎, 下畑享良, 西澤正豊, 井上 誠: 嚥下障害を伴う Wegener 肉芽腫症二症例の比較. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28-9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3) : 542 頁, 2009.
- 40) 敦井智賀子, 荒井良明, 井上 誠, 谷口裕重, 山田好秋: 下顎運動時における頭頸部協調運動. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2009 年 7 月 18 日, 新潟歯学会誌 39 (2) : 201 頁, 2009.
- 41) 船山さおり, 伊藤加代子, 安達大雅, 梶井友佳, 勝良剛詞, 齋藤美紀子, 濃野 要, 金子 昇, 五十嵐敦子, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院加齢歯科診療室「くちのかわき」外来の受診患者に関する検討. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2009 年 7 月 18 日, 新潟歯学会誌, 39 (2) : 203-4 頁, 2009.
- 42) 篠倉千恵, 井上 誠, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者の嚥下時筋活動パターンについて. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2009 年 7 月 18 日, 新潟歯学会誌 39 (2) : 205 頁, 2009.
- 43) 近藤重悟, 堀 一浩, 田峰謙一, 濱中 里, 城下尚子, 山本雅章, 小野高裕, 前田芳信: 舌切除患者における嚥下障害と嚥下時舌圧との関係. 第 26 回日本顎顔面補綴学会学術大会, 2009 年 6 月 28 日, 三重, 顎顔面補綴: 32 (2), 135-6 頁, 2009.
- 44) 山本雅章, 堀 一浩, 城下尚子, 阪上 穰, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 横山須美子, 深津雄己, 藤原茂弘, 小野高裕, 前田芳信: 当科における顎顔面補綴症例データベースの運用に関する検討—1997-2009 年の患者動態について—. 第 26 回日本顎顔面補綴学会学術大会, 2009 年 6 月 28 日, 三重, 顎顔面補綴 32 (2) : 142 頁, 2009.
- 45) 田峰謙一, 小野高裕, 堀 一浩, 近藤重悟, 濱中 里, 前田芳信: 脳卒中患者の嚥下障害に対する舌圧と歯列状態の影響. 第 20 回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009 年 6 月 19-20 日. 老年歯科医学 24 (2) : 135-6 頁, 2009.
- 46) 堀 一浩, 田峰謙一, 濱中 里, 近藤重悟, 小野高裕, 前田芳信: パーキンソン病患者の嚥下時舌圧発現様相. 第 20 回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009 年 6 月 19-20 日. 老年歯科医学 24 (2) : 168 頁, 2009.
- 47) 伊藤加代子, 船山さおり, 葭原明弘, 井上 誠, 五十嵐敦子, 宮崎秀夫: 自立高齢者における口腔機能の経年的変化に関する検討. 第 20 回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009 年 6 月 19-20 日. 老年歯科医学 24 (2) : 194-5 頁, 2009.
- 48) 中村俊介, 古屋純一, 鈴木哲也, 堀 一浩, 小野高裕: 舌圧センサシートを用いた嚥下時舌圧の食品性状による変化. 第 20 回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009 年 6 月 19-20 日. 老年歯科医学 24 (2) : 213-4 頁, 2009.
- 49) 加登 聡, 小野高裕, 長谷川陽子, 吉牟田陽子, 堀一浩, 池邊一典, 前田芳信, 田中宗雄, 森本佳成, 野首孝詞, 谷口 学: 都市部一般住民における歯数とメタボリックシンドロームにおける関係. 吹田研究. 日本補綴歯科学会第 118 回学術大会, 京都, 2009 年 6 月 7 日, 補綴誌 53 (118) 特別: 238 頁, 2009.
- 50) 篠倉千恵, 井上 誠, 丹原 惇, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時筋活動パターンの定量的評価. 第 19 回顎変形症学会総会顎変形症学会, 仙台, 2009 年 6 月 4-5 日, 日顎変形誌 19 (2) : 100 頁, 2009.
- 51) 松村 剛, 濱中 里, 近藤重悟, 堀 一浩, 小野高裕, 藤村晴俊: 舌圧センサシートを用いた筋ジストロフィー患者の嚥下時舌圧測定. 第 50 回日本神経学会総会, 仙台, 2009 年 5 月 20 日, 臨床神経学 49 (12) : 1015 頁, 2009.
- 52) 右近さゆり, 井上 誠: 加齢歯科診療室における看護師が関わる摂食・嚥下リハビリテーション. 新潟歯学会総会, 新潟, 2009 年 4 月 18 日, 新潟歯学会誌 39 (1) : 89 頁, 2009.
- 53) 阪上 穰, 小野高裕, 長谷川陽子, 堀 一浩, 前田芳信: ガム咀嚼時における循環動態と脳血流自動調節作用. 日本顎口腔機能学会第 42 回学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11-2 日, 顎機能誌 16 (1) : 34-5 頁, 2009.
- 54) 川田 充洋, 山岸 直也, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 井上 誠: 自律顎運動シミュレータ JSN/3A の咀嚼様運動における食片性状の検出. 日本顎口腔機能学会第 42 回学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11-2 日, 顎機能誌 16 (1) : 42-3 頁, 2009.
- 55) 小野高裕, 堀 一浩, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 前田芳信: 嚥下障害患者の補綴的リハビリテーションにおける舌圧評価. 日本顎口腔機能学会第 42 回学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11-2 日, 顎機能誌 16 (1) : 44-5 頁, 2009.
- 56) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時筋活動パターンの定量的評価. 第 42 回日本学口腔機能学会学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11-2 日, 顎機能誌 16 (1) : 48-9 頁, 2009.
- 57) 福原孝子, 梶井友佳, 大瀧祥子, 山本真也, 井上 誠: 摂食時における開口反射の変調. 第 42 回日本学口腔機能学会学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11-2 日, 顎機能誌 16 (1) : 50-1 頁, 2009.
- 58) 安達大雅, 塚野英樹, 谷口裕重, 林 宏和, 井上 誠: 咽喉頭刺激が嚥下機能に及ぼす効果. 日本顎口腔機

能学会第42回学術大会,新潟,2009年4月11-2日,
顎機能誌 16(1):52-3頁,2009.

【研究会発表】

- 1) 伊藤加代子:新潟大学くちのかわき外来の現状. 第7回北九州ドライマウス研究会,北九州,2009年11月26日.
- 2) 矢作理花:随意性嚥下における咽頭感覚の役割 随意性嚥下から咽頭感覚をはかる. 歯科補綴ウィンタースクール,淡路,2009年11月13-4日.
- 3) 辻村恭憲,近藤真啓,北川純一,坪井美行,井上 誠,岩田幸一:侵害刺激による嚥下反射抑制機構の解明. 第3回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会,軽井沢,2009年10月3日.

【受賞】

- 1) 矢作理花:随意性嚥下における咽頭感覚の役割:随意性嚥下から咽頭感覚をはかる. 若手セッション優秀賞. 歯科補綴ウィンタースクール,2009年11月13-4日.
- 2) 矢作理花,別府 茂,星 正弘,谷口裕重,梶井友佳,井上 誠:加齢社会の未来を開くカレーゼリー. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会MIP賞,2009年8月28-9日.

【その他】

- 1) Inoue M:Changes in reflex responses of jaw muscles during mastication. Johns Hopkins University and University of Maryland, USA, 2010. 3. 26.
- 2) Tsujimura T : Involvement of NTS nociceptive neurons in an inhibition of swallow. Johns Hopkins University and University of Maryland, USA, 2010. 3. 26.
- 3) 梶井友佳:口腔ケアセミナー. ウィルアシストお客様の福祉機器展特別セミナー,燕,2010年3月20日.
- 4) 谷口裕重:誤嚥と窒息. 新潟県コロニー白岩の里講演会,長岡,2010年2月29日.
- 5) 井上 誠:摂食運動障害の臨床的アプローチ. The Promotion of Multi-disciplinary Research Projects “Translational Research Network on Orofacial Neurological Disorders (TRON projects)”,東京,2010年2月20日.
- 6) 辻村恭憲:口腔顔面領域の侵害刺激による嚥下反射抑制に対する孤東核侵害受容ニューロンの関与. The Promotion of Multi-disciplinary Research Projects “Translational Research Network on Orofacial Neurological Disorders (TRON

projects)”,東京,2010年2月20日.

- 7) 井上 誠:歯科医が行うべき嚥下障害の臨床. 新潟大学歯学部同窓会セミナー,新潟,2010年2月7日.
- 8) 伊藤加代子:新潟市での口腔機能向上事業の紹介~口腔乾燥症との関連~. 平成21年老人保健健康増進等事業,小出,2010年1月31日.
- 9) 井上 誠:介護食開発に向けた基礎・臨床研究. 味の素と新潟大学地域連携フードサイエンスセンターとの交流会,新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」,新潟,2010年1月23日.
- 10) 谷口裕重:摂食・嚥下機能の向上・維持を目指して. 新潟県コロニー白岩の里講演会,長岡,2009年12月18日.
- 11) 梶井友佳:口腔ケアで美味しく元気に. ウィルアシスト福祉展示場セミナー,燕,2009年12月18日.
- 12) 井上 誠:つきたてに变身!パックもちで至福の正月を. NHKためしてガッテン,2009年12月16日.
- 13) 伊藤加代子:口腔ケアの実際. 摂食・嚥下リハビリテーションセミナー,日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー,新潟,2009年12月12日.
- 14) 谷口裕重:嚥下内視鏡. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー,新潟,2009年12月12日.
- 15) 伊藤加代子:今日から使える摂食・嚥下リハビリテーション. 新潟県福祉栄養士協議会研修会,新潟,2009年11月28日.
- 16) 梶井友佳:自分の歯で食べ続けるために大切なこと. 妙高市学校保健講演会,妙高,2009年11月27日.
- 17) 井上 誠:介護食とその臨床特集,新潟日報,2009年11月14日.
- 18) 梶井友佳:摂食・嚥下障害. 新潟県立月ヶ岡養護学校保健研修会,月ヶ岡,2009年11月11日.
- 19) 井上 誠:摂食・嚥下障害に対する臨床的アプローチの未来. 山梨県食品技術研究会技術講演会,山梨,2009年11月9日.
- 20) 井上 誠:おじゃましまーす!専門外来. 新潟日報,2009年10月19日,11月2日.
- 21) 井上 誠:病院から在宅までの摂食・嚥下リハビリテーション. 福島県作業療法士会医療保険部身体障害領域研修会,福島,2009年11月1日.
- 22) 小仲 邦,弘田伸子,近藤重悟,田峰謙一,堀 一浩,小野高裕,佐古田三郎,成富博章:脳血管障害患者における舌圧測定. 神経内科セミナー,大阪,2009年10月31日.
- 23) 食の支援ステーションと 摂食・嚥下リハビリテーション外来の紹介. NHK おはよう日本,2009年10月26日
- 24) 伊藤加代子:健口くんを用いたオーラスディアドロキネシスの測定. 第68回日本公衆衛生学会総会 ラ

- ンションセミナー，奈良，2009年10月22日。
- 25) 井上 誠：摂食・嚥下リハビリテーションの現場と食品への期待．新潟大学地域懇談会，新発田，2009年10月20日．
 - 26) 井上 誠：摂食・嚥下リハビリテーションの New Secrets．摂食嚥下勉強会，西新潟中央病院，新潟，2009年10月16日．
 - 27) 井上 誠：地域に広がれ摂食・嚥下リハビリテーションの和．上越歯科医師会主催口腔ケア研修会，上越，2009年10月6日．
 - 28) 井上 誠：摂食・嚥下機能訓練法の実際．文部科学省委託事業社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム，新潟，2009年9月13日．
 - 29) 伊藤加代子：高齢者、要介護者のお口の健康のために．下越地区口腔ケア研修会，村上，2009年9月3日．
 - 30) 井上 誠：摂食嚥下障害に対する病院のアプローチ．木戸病院NST勉強会，新潟，2009年7月17日．
 - 31) 井上 誠：摂食・嚥下リハビリテーションの実践と評価．国立病院機構新潟病院勉強会，柏崎，2009年7月17日．
 - 32) 伊藤加代子：介護予防のための口腔機能の向上入門講座．新潟大学歯学部公開講座，新潟，2009年7月14日．
 - 33) 井上 誠：摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチと食品との関わり．FOOMA JAPAN 2009，東京，2009年6月9-12日．
 - 34) 井上 誠：未来に向けた摂食・嚥下障害の臨床．昭和大学歯学部研究生ミーティング，東京，2010年3月11日．
 - 35) 井上 誠：舌ケアについて．BSN ニュース，2009年5月18日．
 - 36) 井上 誠：口臭を防ごう．新潟日報，2009年5月6日．
 - 37) 井上 誠：万物流転．新潟大学歯学部同窓会誌，3-5頁，2009．
 - 38) 井上 誠：お口のトラブルバスターズ，近藤丈靖の独占ごきげんアワー，BSN ラジオ．
 - 39) 伊藤加代子：新しい口腔機能測定器を用いたオーラルディアドコキネシスの測定．新潟歯学会誌，39(1)：61-3頁，2009．
 - 40) 島田久寛：食塊の物性と嚥下閾値との関係．学位研究紹介，新潟歯学会誌 39(2)：93-5頁，2009．